



JICAME 通信

JICA カメルーン事務所
2013年8月合併号 第13号

★☆☆ 8月の予定 ☆☆☆

【事業・事務所の動き】

- ★ 8月13日～15日：阿部外務政務官 来訪
- ★ 8月15日：祝日（聖母昇天祭）
事務所休
- ★ 8月29日～9月7日：在外事務所長
会議（本部）

【人の動き】

- ★ 8月6日：農村開発部椎名 Jr. 専門員
着任（PRODERiP：～12月12日）

【目次】

1. 九州の山奥にカメルーンがあった
2. ようこそカメルーンへ（JOCV3名）

九州の山奥にカメルーンがあった！ ～中津江村訪問記～

JICA カメルーン事務所 所長 矢部 優慈郎

日本でカメルーンの名が知れ渡ることになったのが、今から11年前の2002年サッカー・ワールドカップ日韓大会だ。カメルーンチームは、大分県中津江村をベースキャンプ地としたが、到着が4日も遅れたことが話題となり、村の名前、住民のホスピタリティとともにカメルーン＝サッカーという強い印象を日本中に与えた。

そこで、一時帰国の機会を利用し、カメルーンと縁の深いこの村を訪問しようと思っかけた。福岡から高速バスで大分県日田市まで1時間、さらに車で1時間の道のりだ。今回は日田からJICAデスク大分の渡辺さんが送迎してくれたのでとても助かった。

ダムを横目に走ると山の緑が一層深くなる。すると「いらっしやいませCAMEROON CAMP in 中津江村」の大きな看板が目飛び込んできた。ここから「カメルーン坂」を上ると鯛生（たいお）スポーツセンター。



選手たちが練習したグラウンドが今も青々とした芝で整備されている。また、宿泊施設の前にはカメルーンチームの愛称である「不屈のライオン」の像が鎮座し、訪れる少年チームらに闘志を抱かせている。

→ 次頁に続く →

九州の山奥にカメルーンがあった！（続）

～中津江村訪問記～

JICA カメルーン事務所 所長 矢部 優慈郎

→ 館内ではカメルーンチームが等身大の写真パネルで利用者を歓迎し、当時の練習、試合の様子を写真やユニフォームで紹介。

合宿や大会（ラグビーもできる）で県内外から大勢の利用者があるようだ。大分で学ぶカメルーン人留学生もボランティアで来ることもあり、交流が続いている。

カメルーン坂から県道を先に進むと「東洋一の大金山」と呼ばれた鯛生金山（地底博物館）が、大きなカメルーン国旗を付けて我々を出迎えた。そして、当時、村長として先頭に立って活躍した坂本休さん（財団法人 中津江村地球財団理事長）が、おそろいのカメルーン国旗ベスト姿で現れた。



「まずはカメルーン弁当をどうぞ」と勧められ、出てきたのはこれまた国旗を模したご飯と見覚えのあるベニエ（揚げ物）だ。チキンやスープもカメルーン風の味付けだが、和食としてアレンジされている。東京在住のカメルーン人のレシピ、調理指導で作られたという凝りようだ。地元の新聞 2 社の取材を受けながら美味しくいただいた。

坂本さんは本当に温厚な方で、当時の奮闘の出来事を昨日のこのように、そして穏やかに話し下さった。私から最近のカメルーン情勢と JICA の活動概況を伝え、坂本さんからは日韓大会後、2 度も

カメルーンを訪問し、大統領はじめ多くの閣僚から大歓迎を受けた（JICA 所長はそこまでされない！？）などのエピソードをうかがった。また、毎年 5 月には在京カメルーン大使館の「統一記念日レセプション」に招待されているようだ。

坂本理事長の案内でヒンヤリとした鯛生金山の坑道を見学後、「ベースキャンプ記念館」へ。

ここにはカメルーンと当時のチームを紹介する資料や記念品、村のひとたちの心のこもった手作り応援グッズがたくさん展示され、カラフルだ。併設のお土産ショップにはオリジナルの「不屈のライオン」Tシャツやエコバッグも並ぶ。

現在、中津江村はその名は変わらないが日田市に合併され、行政機関の統廃合もあり、ワールドカップ当時の人口 1300 人は 10 年間で 980 人へと減っている。しかし、年間の訪問客が 20 万人もいると聞いて驚いた。ワールドカップキャンプ地としての経験、資産を持続的に活用して集客、観光開発に取り組む村の力強さを感じる。来年のワールドカップ・ブラジル大会にカメルーンが出場できるかどうか、中津江村も大きな関心を持って応援しているようだ。9 月の予選終盤の試合が注目される。がんばれカメルーンチーム、そして中津江村！



ようこそ カメルーンへ 新着任 JOCV 紹介

	<p>小掠 真由美 Ms. Mayumi OGURA 出身地：愛媛県 職種（配属地）：幼児教育（クリビ） 趣味：音楽を聴くこと、旅行、茶道 抱負：カメルーンの様々な文化や人に触れながら、多くの経験をしたと思います。 幼児教育の現場では、子ども、先生、保護者と関わり、自分のできることとしていきたいです。 よろしくお願いします。</p>
	<p>岡部 英樹 Mr. Hideki OKABE 出身地：熊本市 職種（配属地）：幼児教育（サンメリマ） 趣味：大工・手芸・サッカー・ピアノ・歩行・車の改造・図書館に入り浸って読書 あと、こっちに来て最近ギターを始めました！（活動に使いたくて） 抱負：帰るころには、「何かしら、この国の力になれた！」と胸を張って言えるよう、頑張るのみです。活動では、発達や個を重んじつつ、楽しかったと子どもたちに言ってもらえるような活動をしていきたいです。</p>
	<p>小野 洋文 Mr. Hirofumi ONO 出身地：山梨県 職種（配属地）：番組作成（フンバン） 趣味：登山・四国お遍路・アニメ・少女マンガ 抱負：洋文の母でございます。息子は言いだしたらきかない子で、このたびは勤めを辞め嫁もとらずに飛び出していきました。健康のこと、また皆様にご迷惑おかけしないか心配ですが、どうぞ温かくお見守り下さいますように。</p>

